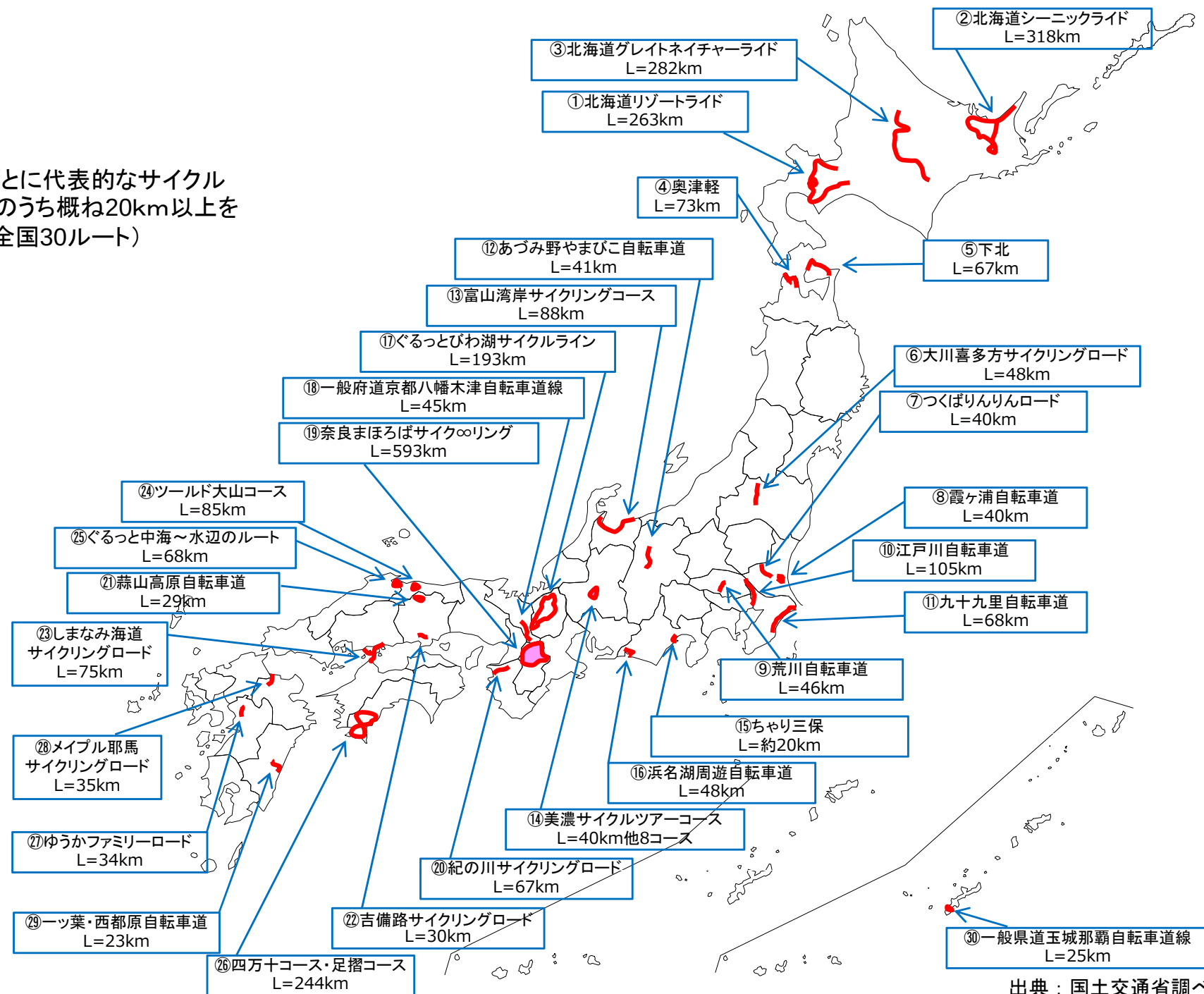


広域ネットワークの利活用 の促進について

1. 各地域の主なサイクルルート

地域ごとに代表的なサイクル
ルートのうち概ね20km以上を
抽出(全国30ルート)

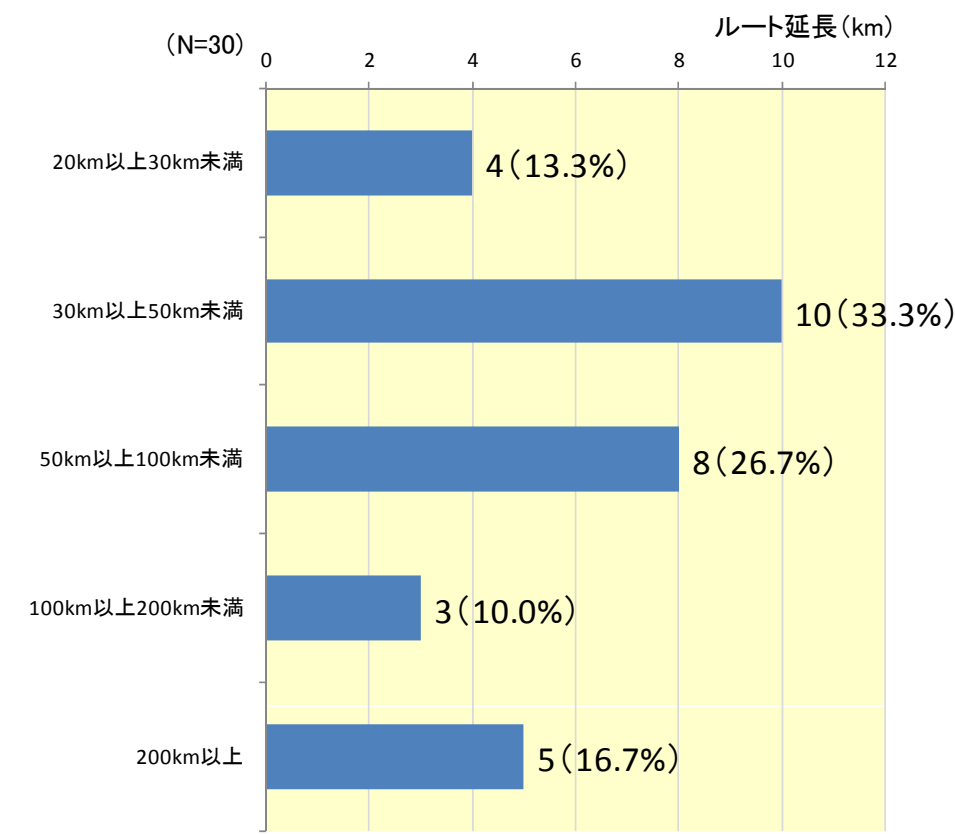


出典：国土交通省調べ

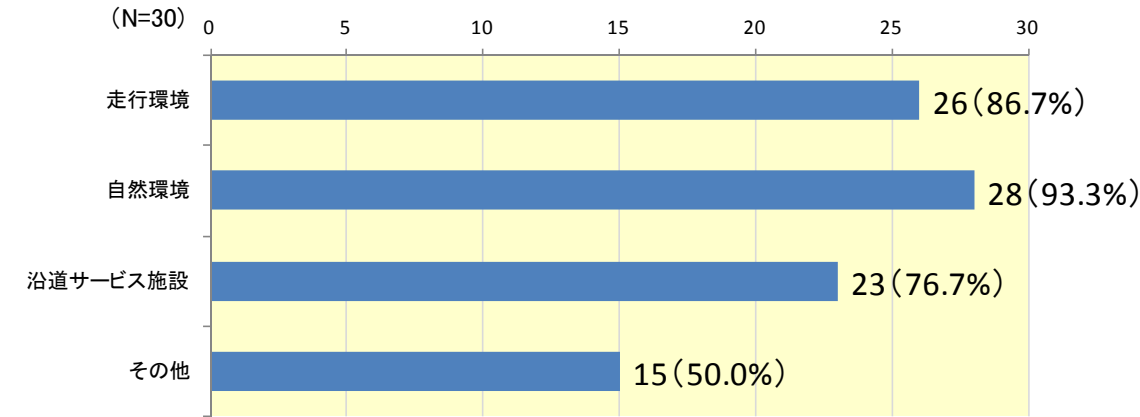
1. 各地域の主なサイクルルート

- ルート延長が100kmを超えるものは少ない。
- ルートの特徴・魅力は、「自然環境」、「走行環境」、「沿道サービス施設（休憩施設など）」などが多い。
- 利用促進により期待する分野では、「観光振興」や「地域活性化」が多い。

■サイクルルートの延長

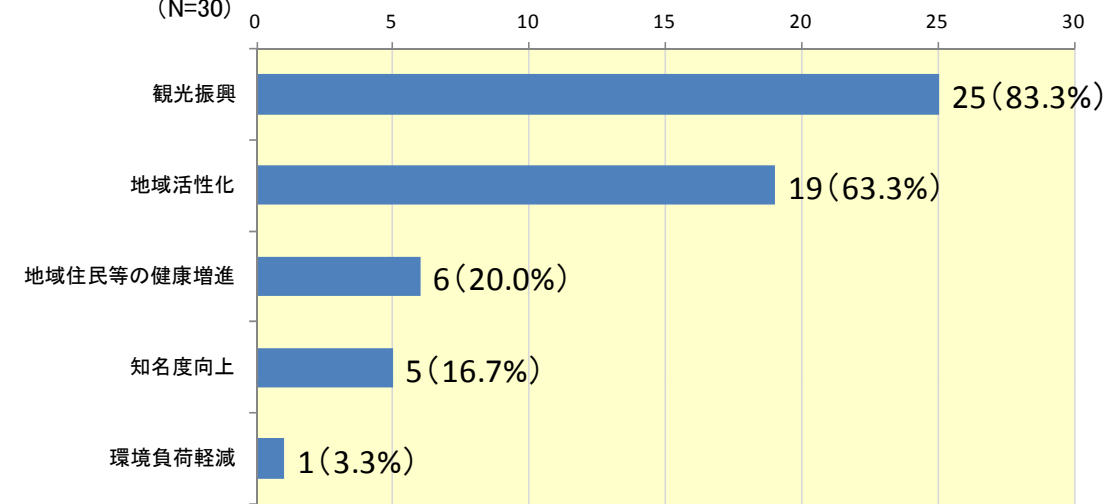


■サイクルルートの特徴・魅力



注) 自由意見の記入内容により判別し集計

■サイクルルートの利用促進により期待する分野



注) 自由意見の記入内容により判別し集計

出典：国土交通省調べ

2. しまなみ海道サイクリングロード

○ 自転車を活用した観光振興など、地域活性化に向け関係者との連携を強化。

■年間17万人が利用する多島美を満喫できるサイクルルート



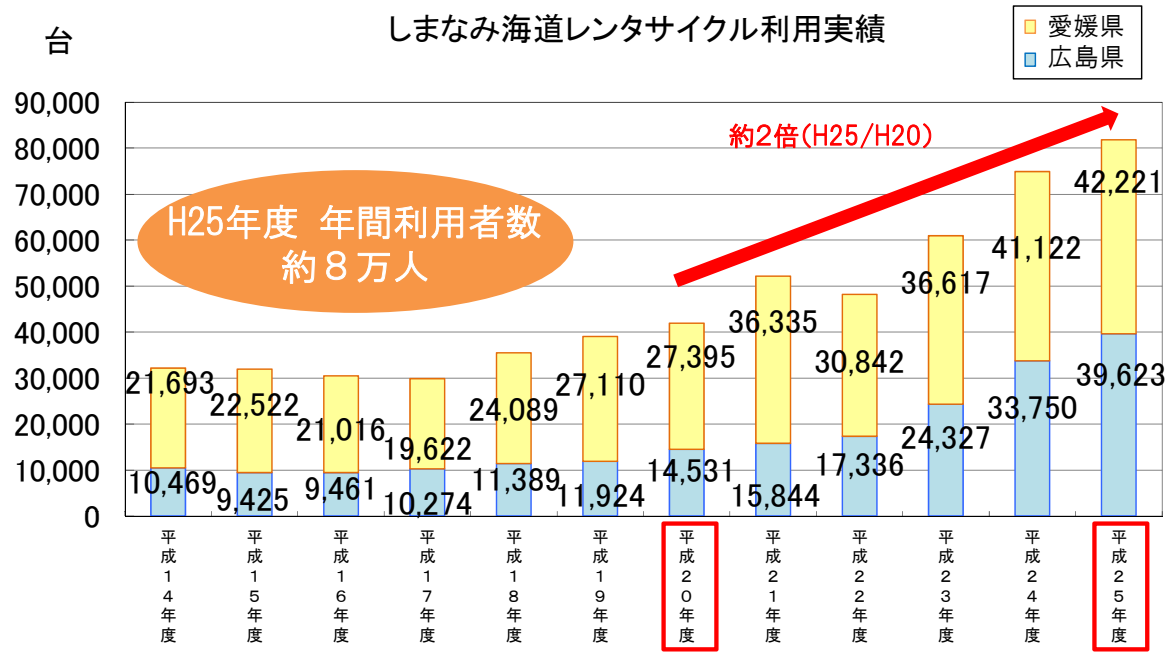
■観光振興への活用



15箇所のターミナルで貸出、乗捨を可能にするなど、利用者の利便性に配慮した取組みを実施



【レンタサイクルターミナル】



3. 海外におけるサイクルルート

■ヨーロッパにおける認定事例

サイクルルートの名称	EuroVelo
認定主体	欧州サイクリスト連盟
整備状況 ・ルート数 ・延長(km)	14ルート 約78,000km (各ルート延長の合計)

サイクルルートの名称	D-Netz
認定主体	連邦政府
整備状況 ・ルート数 ・延長(km)	12ルート 約11,700km



出典：European Cyclists' Federation HP



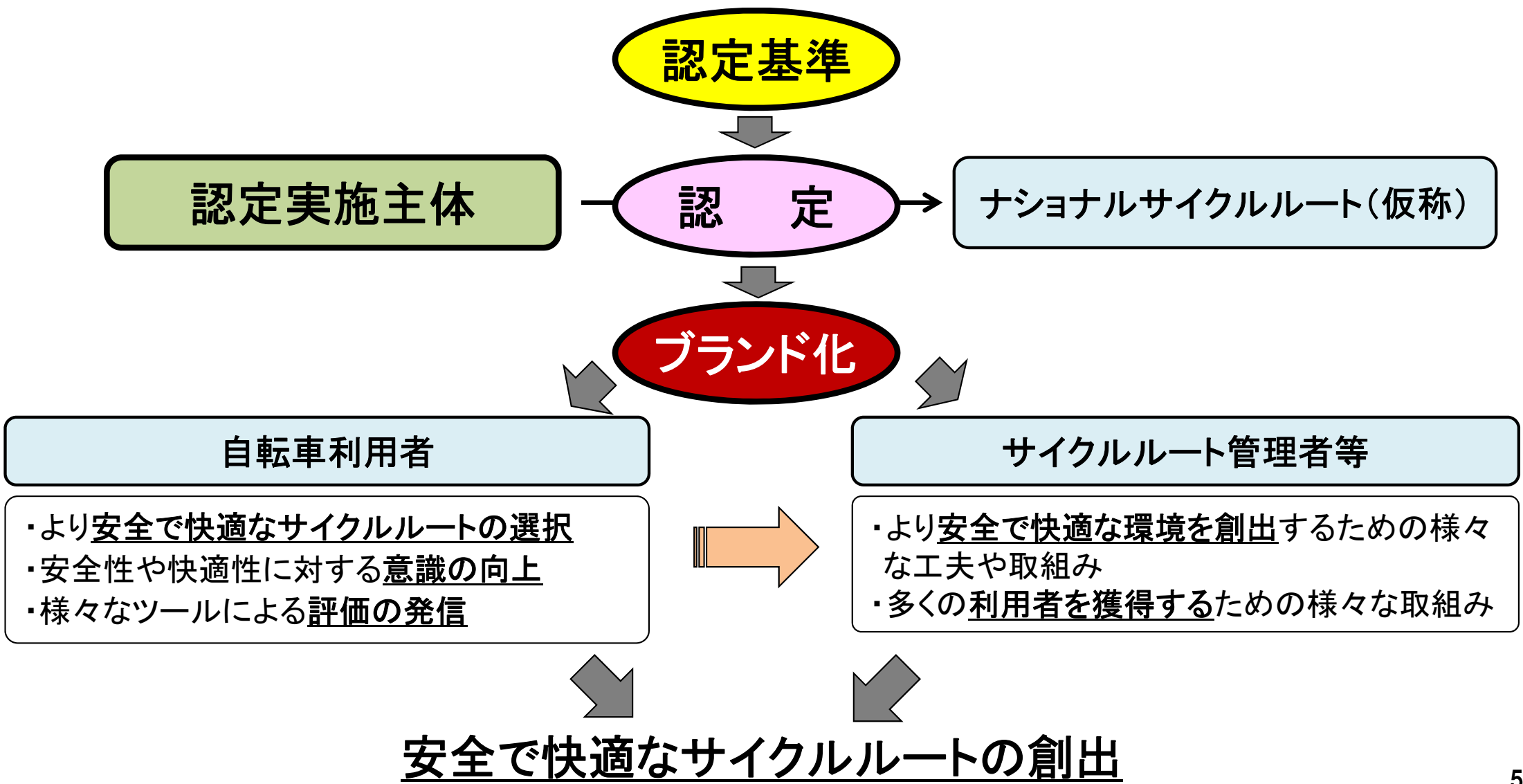
出典：Federal Ministry of Transport, Building and Housing, National Cycling Plan 2002-2012



道路標識に設置されているD-netzのサイン (ベルリン)

4. ナショナルサイクルルート(仮称)認定制度のイメージ(案)

○ 認定によるブランド化により、国内外の自転車利用者が、安全なサイクルルートを選ぶことのできる環境を整えとともに、サイクルルートの管理者等による質向上のための様々な取組みを促進することで、安全で快適な自転車利用環境を創出すること。



補足説明資料

認定にあたっての考え方(案)

【サイクルルートの基礎的要件(案)】

基礎的要件	水準
・サイクルルートの利用環境が整っていること	・サイクルルートとして一定の規模がある ・一定の間隔でトイレがある
・サイクルルートとして認識されていること	・マップ、HP等がある
・沿線に地域資源があること	・景観資源、自然資源、歴史資源、文化資源、体験・交流資源、及び施設・情報資源のいずれかがある
・サイクルルートの質を維持・向上させるための取組が行われていること	・継続的に取り組むための組織や仕組みがある

認定にあたっての考え方(案)

【ナショナルサイクルルート(仮称)の認定要件(案)】

基本的なスタンス

海外からの利用者も含め幅広い年代層が、安全で快適に楽しく利用できるサイクルルートのうち、全国を牽引するルート。

①安全性

◆ 自転車通行空間の確保

例) 全長にわたって自転車利用者が迷うことなく走行できるよう通行位置の明示等がされていること等

◆ 自転車通行空間の連続性

例) 全長にわたってルートに途切れがないこと

◆ 注意喚起や案内標識等

例) 注意喚起や案内標識が適切に設置されていること、マップが用意されていること

◆ 交通事故の実績

例) 過去5年間で交通事故発生件数が極めて少ないこと

②快適性

◆ おもてなし

例) レンタサイクルの提供

宿泊施設(自転車を持ち込める宿等)

休憩施設(修理等サービス等)

案内施設(外国語対応等)

案内機能(ツアーガイド等)

公共交通によるアクセス(サイクルトレイン)

◆ 交通のアクセス

例) 自動車によるアクセス(駐車場)

鉄道・バスによるアクセス(輪行)

◆ 利用者の評価

例) アンケート結果(満足度等)

③発展性

◆来訪客数の伸び

例) 来訪客数が伸びており、今後の伸びる傾向にあること

◆外部評価(話題性)の有無

例) 自転車雑誌や旅行雑誌等マスメディアで取り上げられていること

◆将来計画の有無

例) 安全で快適な利用環境を整える計画があること(路肩の拡幅及び改修、休憩施設の改修、交通規制の見直し、駐輪場や自転車)

様々なルート指定の形態

	官	半官半民	民間
事例	ドイツ  (連邦政府)	フランス  (自転車ルート・グリーン道国家委員会)	EU  (ECF 欧州サイクリスト連盟)
類似事例	道の駅  (国土交通省) 日本風景街道  (国土交通省)	日本の道100選  (建設省及び「道の日」実行委員会) 美しい日本の歩きたくなる道500選  ((社)日本ウォーキング協会)	ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン (ミシュラン)